

道徳教育の今を考えました！

平成23年2月26日(土)もとす教育者道徳研究会(教道研)として、2回目の実践研究会を開きました。北方町立北方西小学校ひまわり教室に、20名が集まりました。その様子を紹介します。

今回は北方町を代表して北方中・寺田武義教諭、共催の瑞穂市を代表して本田小・谷村三奈教諭に提案していただきました。



自己紹介する参加者の皆さん

高いレベルにあることを11月5日各務原市立那加第三小学校で行われた中部地区道研岐阜大会でも認められたこと。8月12日には本会を代表して北西小・星野友多教諭が着実な実践発表をして大好評だったこと。しかし、常に学ぼうとする教師自身の不断の意欲が極めて大切であり、広げる努力を今、危機感をもって取り組む必要があること。等の挨拶がありました。

今回、瑞穂市教育者研究会会長である本田小・置田和永校長はじめ瑞穂市の方にも参加していただきました。進行は、大野俊彦理事が行いました。

まず、参加者の自己紹介の後、主催者を代表し森山政紀会長が挨拶をしました。本県は道徳教育において全国でも



挨拶する森山会長

道徳教育でわたしが今大切にしていること

実践提案では、前半、北方中・寺田武義教諭が「相手の身になって気持ちを考えることのできる生徒の育成」と題して、発表しました。

人間としてよりよく生きていくための力として、ありのままの自分を出して「ホッと」できる自分づくりと「ホッと」できる仲間づくりの必要性を中1の学級担任として捉えていること。特に、中1ギャップといわれる中、「みんなが安心みんなが温かい学年」をめざして学年の教師間で日々共通に取り組んでおられる姿とその教育観に、参観者の強い共感が寄せられました。



発表する寺田教諭

まず、日常的な取組から「郡上宿泊研修」の実践が紹介されました。仲間として積極的に関わり合うことの難しさを『山川くんのこと』の道徳資料で考え合ったこと。授業を通して考え合ったことが、仲間と踏み出す信頼感につながり、行事の成功と学級づくりに結びついていった実践でした。道徳教育が意図的に活かされている実践でした。

次に、道徳計画訪問での授業が紹介されました。資料は『私もいじめた一人なのに…』です。アトピー性皮膚炎のため流行っていた「菌まわし」の対象にされた女子との小学校の思い出を回想した文章です。その子の持ってきた花が汚いと言った男子に腹を立てて殴ってしまったことがあり、転校する際「かばってくれてありがとう」の寄せ書きを見て、「一度しか…」と後悔している内容です。本授業では迫り切れなかったとの反省がありましたが、「生活ノート」による交流等、生徒の信頼を得ている寺田学級でこそその反応が感じられました。

後半は、本田小・谷村三奈教諭が「主人公と自分をつなぎ、新しい自分に向かって一步踏み出す子を求めて」と題しての発表でした。

平成22年度中部地区道徳教育研究大会第2分科会で発表されたものを、より多くの人に知ってもらいたいと、お願いしたものです。

本田小では、「自己の生き方についての考えを深める」道徳の時間の指導を研究しています。その追究イメージを谷村教諭はタイトルにされました。その実践は①「あるがままの自分に気付かせる」②「主人公の生き方からあるべき自分を見つける」③「新しい自分を創り出す」という授業の3つの段階として捉えています。



発表する谷村教諭

①では、主人公の行動や気持ちが分からないところに着目させます。6年資料『海の勇者』では、船長の責任を理解できないが故に、話し合いも活発になります。②では、主人公との相違点から「あるべき自分」を見つける深めの発問を工夫します。「どんな気持ちがあると船長に近づけるか」が、より有効だったようです。ニューモラルから取材した自作資料『金メダルへの道』を使った実践では「国枝さんは特別なのか」の発問により自分のがんばっていることにも着目できたようです。③では、国枝さんと比べて、よりよい自分になれるように伸ばしたいことを書き、

「小さい目標を立ててやり続ける」「プラス思考でくじけない」等々、自己肯定感で「もう一步」踏み出す自分づくりを大切にしているとのことでした。谷村学級も道徳の授業や「生活ノート」で、一人一人が大切にされていることを強く感じました。



最後に、林明夫顧問より指導講評をいただきました。

児童生徒が夢と希望をもてるように、日々の指導に励んでくださっている提案者を価値付けていただきました。また、資料の扱い方として心から納得できるような、他にも転用できるような迫り方をしなくては、価値把握に至らないことを具体的に示されました。資料『卵焼き』ならば「ありがとう」でなく「ごめんなさい」が言える迫り方をしなければ…。今年度も至言をいただきました。



講評する林顧問

閉会後は、焼き肉屋で懇親会を行い、お互いの今年度の慰労と来年度の夢を語り合いました。よい締めくくりができました。

平成23年度もよろしく

平成23年度の主な活動計画予定

5月20日(金) 理事・役員会(北方西小)

6月25日(土) 総会・講演会(北方西小)

8月10日(水) 第48回岐阜県教育者研究会岐阜もとす会場

(北方町 きらりホール)

8月18日(木) 県道徳教育研究部会夏季ゼミナール

(瑞穂市 巢南公民館)

12月23日(木) 理事・役員会(北方西小)

2月25日(土) 実践研究会(北方西小)

今年度から岐阜県教育者研究会は3会場で行うことになりました。もとす教道研としては、岐阜もとす会場の運営担当の大役があります。さらに実践発表者として北方中・寺田教諭が選ばれました。本巣市・北方町の先生方でお力をお貸しいただければと思います。また、道徳を学ぶよい機会ですので、県教育者研究会・県道研夏季ゼミナールのご参加を考えてみてはいかがでしょうか。

よろしければ、8月の出張を校長先生にお願いしてみてください。

